



令和元年度

東日本大震災
(3.11)を忘れない



津波てんでんこ

2020.
03.03.
TUE



小野中学校



南相馬市に押し寄せる津波

す)
枝勝子はしばらくの間は福島市飯坂に避難をしていましたが、安全には戻れる目途が立たず避難の生活も困難があり3月26日に自宅に戻りました。た妹が3月28日に原町区小沢および小高区塚原付近ほかを写真に収めてきましたので、この地区の被害状況を掲載します。(平成23年3月29日)



南相馬市原町区小沢の比較的に高台になっている戸屋地区を襲う津波の強大な波しぶき

南相馬市小沢：住宅が密集していた地区



住宅はすべて津波に流されてしまう

● 東日本大震災の被災状況



健太康太スクールコンサート



2020



勝手に
合コン

健太康太学校ライブ大作戦

悲しみ消えるまで



あの日から頭をよぎる 言葉は
何故? そう問いかけても…こ
だまするばかり 答え見つける
事もできずに 涙溢れるばかり
で 時の流れに逆らえずに
ただ口ずさむ PLAY(PRAY)FOR
SING A SONG

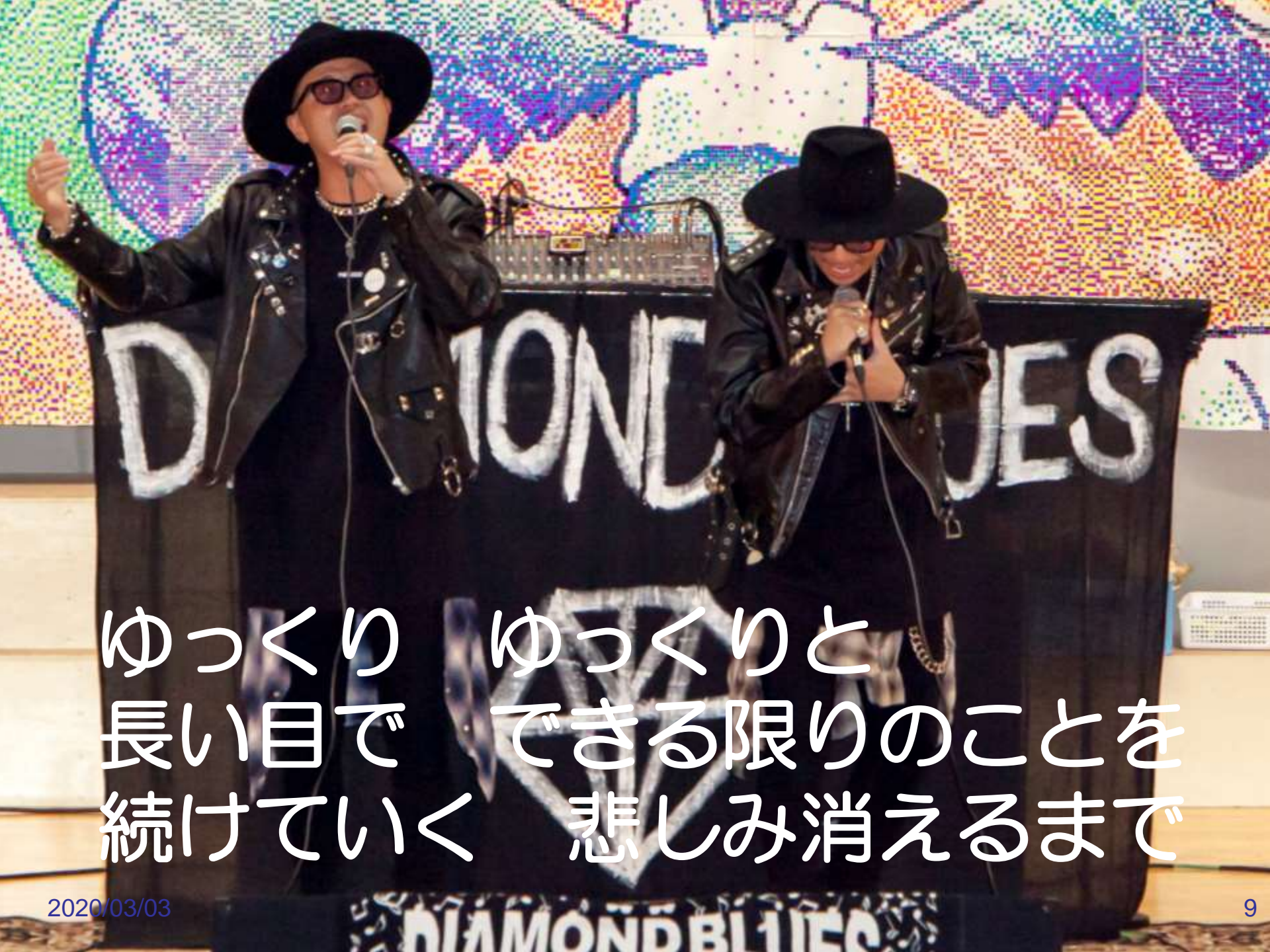
悲しみ消えるまで
強くなれ 強くあれ
気の利いた台詞見つからずに
歌うよ 涙枯らすのは流れ行く
時間だけが持つ力
諦めないで

悲しみ消えるまで



被災地の人々の眼差しや笑顔に
沢山の勇気を逆にもらいました
あなたが一人こぼす涙を止める
事もできないけど
世間の視線に立ち尽くして
臆病にならず PLAY(PRAY)FOR
SING A SONG

悲しみ消えるまで
強くなれ 強くあれ
気の利いた台詞見つからずに
歌うよ 涙枯らすのは流れ行く
時間だけが持つ力 諦めないで



ゆっくり ゆっくりと
長い目で できる限りのことを
続けていく 悲しみ消えるまで

あなたを忘(わす)れない

夢(ゆめ)

「ぼく、警察官(けいさつかん)になって悪(わる)い人(ひと)を逮捕(たいほ)するんだ。」

1か月後

「しょうた」と書かれた服を着た男の子が、田んぼの泥の中から見つかる。



「南相馬市小高区
齋藤 翔太くん(5つ)

宮崎 朱里(みやざき しゅり)さん

夢

「じいちゃんの病気を治したい」

医師を目指し、4月から
は相馬高校理数科に進学予
定だった。

自宅から約3 km離れた
田んぼで見つかる。



「相馬市磯部 朱里さん(15歳)」

村田 彩(むらた あや)さん

夢

「ピアノの先生」

幼少時代からピアノを始め、
小高中では合唱部に所属。

音楽の部活動が活発な相
馬東高校に推薦で入学が決
まっていた。
川沿いで両親とともに発見
された。



「南相馬市小高区 彩さん(15歳)」₁₂

木村 汐凧 (きむら ゆうな) さん



汐凧さんを捜す父の木村紀夫さん



お父さんは、汐凧に謝らなければならないことがある。
大きな地震があったら津波が来るから家に戻っちゃ
いけないとしっかり教えてなかったことをとても後
悔しているんだ。汐凧ならきっと、ちゃんと教えてればそ
の通りにしっかり行動できたはずだ。ほんとうに、申し訳な
かった。そうだね、汐凧はお父さんに生きてやらなければならない
ことを残してくれた。

地震が来たら海の近くにお家のある子供を、親が迎えに来
たからといっても帰してはならないし、親も決して家に連れ
戻ってはならないということ。

また、親は、子供が自らの判断で危険を回避しなけ
ればならないことを教えなければならない。

いつ何時でも、必ず親が子供を守ってやれる状況にあるわ
けではないのだから…。

釜石の奇跡



(津波襲来直前に轄住居地区住民が撮影)

津波てんでんこ

1 シンプルな教え

「今より高く、
今より遠く、今すぐ移動」



2 シンプルな訓練

「常日頃からより高く より遠く より早く」

3 シンプルな意識

「誰の指示も待つな 自分の命は自分で守る」

前を向いて歩こう！

